



問 関東・東北豪雨時による町の被災状況は

答 人的被害はなかったが、農作物等で一部の被害が発生した

新井 庫 議員



町長 川妻浄
水場施設の一部が冠水し、各所で多

生活安全課長 町水防団本部員、各水防団員35名

東北豪雨による町の対応は。また、今後において地域防災計画、洪水ハザードマップの見直し、雨量計の設置、町道5号線及び幹線道路の嵩上げについてどのように考えているか。

地域防災計画の見直しを進めていく。

また、近隣市町において、多くの家屋等で浸水被害が発生したことから、町において、もし利根川が決壊した場合を想定しますと、改めて災害対策の重要性を痛感している。町としては、今回の関東

堤防巡視をした。また、平成26年度に改定したハザードマップについて、避難道路通行不能箇所、避難個所等を含め、今後見直しを進める。雨量計の設置については、今後検討

の堤防巡視をした。また、平成26年度に改定したハザードマップについて、避難道路通行不能箇所、避難個所等を含め、今後見直しを進める。雨量計の設置については、今後検討

の堤防にもなっており、所管する県関係機関との協議を進める。また、幹線町道については、周辺の土地利用等、現場の状況を含め検討していく。

問 都市計画道路（町道7号線）について

答 できるだけ早期に整備したい

都市建設課長 計画延長約2,630メートルのうち、約1,270メートルを利用している。未整備区間については、平成25～26年度に地元説明会を開催し、平成26年12月に路線を決定した。今

都市建設課長 計画延長約2,630メートルのうち、約1,270メートルを利用している。未整備区間については、平成25～26年度に地元説明会を開催し、平成26年12月に路線を決定した。今



舟渡橋手前から小手指方面へ向かう町道7号線

問 都市計画道路（町道7号線）の進捗状況は。また、現在進められている圏央道インター周辺開

発とのアクセス道路として町民、地域住民も早期着工、完成を望んでいる。今後の進め方は。

年度は、中心線測量及び土質調査を進めており、平成28年以降に財政状況等を勘案しながら、道路及び交差点の予備設計、用地測量等を予定

したい。また、工事の着工、完成時期については、関係機関等との調整を含め検討

していく。

都市建設課長 町内の道

線町道については、周辺の土地利用等、現場の状況を含め検討していく。

していく。

の堤防にもなっており、所管する県関係機関との協議を進める。また、幹